

新型コロナの感染で日本の中心的役割を医師として果たしている大阪大学の忽那医師の母親が新型コロナ感染後に認知障害が発現したとのことで、以下の論文を忽那医師が紹介しています。ワクチンの予防効果があるようです。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)入院患者 351 人とマッチした健常対照 2927 人を比較し、COVID-19 後遺症としての認知機能低下を 1 年間追跡した研究では、認知障害は広範囲で、脳損傷マーカー(NfL、GFAP)の上昇や前帯状皮質の灰白質容積減少と関連していた。経時的には一部改善するものの回復は不完全であった。

Nat Med. 2025; 31: 245–257.

Posthospitalization COVID-19 cognitive deficits at 1 year are global and associated with elevated brain injury markers and gray matter volume reduction

Greta K Wood et al.

ノルウェーの 18 万 8137 人を対象に SARS-CoV-2 感染の前後で記憶機能(主に日常記憶)を評価し、感染後の記憶障害の発生とその持続について調査した研究では、11 万 1992 人のデータから、SARS-CoV-2 陽性者(5 万 7319 人)は陰性者(5 万 4673 人)に比べ、すべての時点で平均記憶障害スコア(EMQ)が高い(記憶障害が多い)ことが示された。このスコアの悪化は感染後最大 36 カ月まで続き、入院期間が長いほど悪化が顕著であった)

N Engl J Med. 2024; 390: 863–865.

Prospective Memory Assessment before and after Covid-19

Merete Ellingjord-Dale et al.

英国の大規模な地域住民サンプルを対象に行われた研究では、14 万 1583 人の参加者がオンライン認知テストを行い、COVID-19 による未解決の持続症状を持つグループでは、認知スコアが健常者に比べて顕著に低下(-0.42SD)していた。記憶、推論、実行機能における障害が最も大きく、入院や重症度が影響を強める要因として確認された。一方で、ワクチン接種や変異株の影響で認知への影響が軽減する傾向も観察された。

N Engl J Med. 2024; 390: 806–818.

Cognition and Memory after Covid-19 in a Large Community Sample

Adam Hampshire et al